

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.166

2013/09/15

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

絶滅危惧種『ミヤコアザミ』復活

ミヤコアザミ(13/09/06)



ヤホシホソマダラを狙うオオカマキリ



幻のミヤコアザミに再会(09/09/26)

1990年代前半に村瀬氏(山門湿原研究グループ)によって確認されていたミヤコアザミは、北部湿原の林地化の進行に伴ってその後確認出来なくなり絶滅かと危惧されました。しかし2008年北部湿原の復元が完了し、2009年幻となっていたひ弱なミヤコアザミ3株の開花が確認出来歓喜したものです。この年採種を行い開花場所に苗床をつくり播種を行いました。翌2010年発芽をし植え替え・除草を繰り返し2011年には開花し始めたものの、ノウサギ・シカの食害が続く食害防止ネットの試行錯誤を繰り返し今日の大開花を迎えました。一度絶滅に瀕した種の再生は、サワラン・クサレダマ・ミツガシワ同様多くの人手と監視が必要です。特にイノシシ・シカ・ノウサギ対策は欠かせません。

天然更新試験地の食害防止ネットの有無によって著しい植生の違いがあることは前号までにも報告しました。シカなどがどのように採餌しているのかを把握するため、今年度「夏原グラント」の助成で記録用のビデオカメラを設置しました。設置後間もなく見事な動画画像が得られました。頻繁に採餌に訪れるシカが写っています。さながら奈良の若草山を見ているようです。これだけ頻繁に採餌されれば、食害防止ネットの有無で植生に大きな差異が出来るのは当然です。6月の調査に続いて9月下旬に3回目の植生調査を行います。是非調査に参加して両者の違いをご自身の目で確かめて下さい。加えて今後の食害防止策も考えたいと思っています。



天然更新試験地シカの採餌風景(13/09/07)

研修・実習も相次ぐ



滋賀大学教育学部社会環境実習(13/08/19)



長浜市立小学校環境部会研修(13/08/23)



「コープしが南部」樹名板設置(13/08/25)



東京・成城初等学校ブナの植樹(13/09/05)



「やまかど・森の楽舎」(2004 年 3 月)・バイオトイレ(2002 年 3 月)竣工以来手を付けていなかった屋根の塗り替えを 2 日間かけて実施しました。予想以上に傷みが無く、新たな塗装完了で少なくとも 5 年くらいは塗り替える必用は無いだろうと思われます。これでまた安心して日々の活動に利用出来ます。



沈砂池の浚渫作業(13/09/09)



カヤネズミの巣(13/09/03)

保全活動も日々進めています。附属湿地の除草・砂防作業・ススキ分布拡大防止選別刈り取り・コース沿い枯死木の伐採・観察コース整備など、どれだけ人手があっても足りないくらいです。湿原内へは、毎月 1 回の定期調査以外には入っていませんが、過日の定期調査時にカヤネズミの巣が今年も見つかりました。その後の保全作業でも見つかり少なくとも 5 箇所に巣が有ります。

何とかカヤネズミの個体を撮影したいと固定カメラをセットしてありますが撮影には成功していません。こちらでもビデオでないと撮影が難しいのかも知れません。もう 1 台ビデオカメラが欲しい～。



今年2回目の発生・タマゴタケ((13/09/09)